

市政を質す！

一般質問

2月定例会では、9議員が一般質問を行いました！

6～8ページまでの代表質問では、各会派の代表議員が総括質問をしたのに対して、一般質問は議員個人が市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問を行います。

スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、右記2次元コードからもアクセスできるほか、各議員の顔写真下に掲載された2次元コードから直接、議員の映像配信をご覧いただけます。



一層のゴミ減量化に向けて 課題と解決に対する壁への対応

毎年実施している組成分析調査実績データから、課題解決に向けて

どのように対応していかの
か
同。

A 令和4年度は、生ごみは39・8%、紙類が11・2%、プラスチック類は10・9%となった。

分別収集している紙類とプラスチック類の混入率が下がっているため、さらなる生ごみの削減や、紙類やプラスチック類の分別を推進していく。その中で減量効果が最も高いものは、生ごみの削減であると分析している。よって、水切り、食べ切り、使い切りの「3きり」による生ごみの発生抑制とともに、生ごみ処理容器のモニター事業や、「ディスプレイ」設置補助などによる生ごみの減量対策をより一層推進していきたい。ディスプレイは、ごみ出しなど家事の負担の軽減と生ごみの減量効果があり、庭や軒下にキエロ口などが置けないご家庭でも生ごみを減らすことができるため、令和

5年度から新たに補助対象とした。



むら かつ 村 松 幸 昌
(凌雲の会)



生ごみ処理の基本「3きり」
(焼津市ホームページで紹介)

焼津体育館再整備の設計

Q 土俵も含めた一体化の整備は、

A 新たな施設を作る場所が、今の焼津体育館向かい側にある中央広場となる。相撲場とは道路を挟むが、一体的利用については、景観を重視した設計を組んでいく。

Q 長く武道競技で使える機能は、

A 今の焼津体育館の機能を引き継ぐ形を基本とし、武道もそのほかの競技でも、多様な使い方ができるような施設を目指している。

焼津市の人口減少・少子化対策

Q 人口動態の傾向を伺う。

A 人口の社会増減について令和4年は県内で最も多い326人の転入超過。自然増減は平成19年まで増であったが、以降は自然減。

Q ①子ども家庭センター、②第二の成人式等開催支援金、③出産・子育て応援事業の目的は。

A ①多くの専門職員を配し、児童福祉と母子保健の相談支援を、同じ場所で一体的に提供できるようにする。②コロナで減少した交流の機会創出、若者のUターンや二拠点居住を促進するために支援金事業を創出する。③妊婦や子育て世帯の相談に応じ必要な支援につながる伴走型支援体制の充実を図り、妊娠届け時と出生届け後に子育て応援ギフト5万円を支給する。

Q 第二の成人式等開催支援金事業の詳細は。

A 25〜35歳の市民が開催する同窓会で最大20万円、10人以上の同級会で最大5万円を補助する。



かわい かつや
河合一也
(凌雲の会)



Q ①子育て世帯移住定住応援、②産業立地促進の各事業効果は。

A ①移住定住の促進や、土地区画整理事業の一般保留地販売・中古住宅の流通促進への寄与。②企業誘致を促進することで産業の活性化・雇用の創出につなげる。

Q 市独自の妊産婦支援事業は。

A 妊産婦特定医療費助成事業で、妊娠期に起こりやすい特定5疾病に対し、高額療養費等の補填分を除く自己負担額全額を助成する。

Q 今後の中長期的な取り組みは。

A 子育て支援の更なる充実に加え、社会情勢に応じた対策を講じる。



旧アトレ庁舎に8月設置予定の子ども家庭センターを構成することも相談センターの入口ロビー

障がい者・難病者の社会参加をすすめるために

Q 医療の発達により働き方の工夫次第で障がい者・難病者の就労の可能性が広がってきている。採用方法にどのような工夫をしているか。

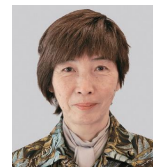
A 合理的配慮がされるよう、事前に対象者に対する配慮事項を確認して受験に対する配慮を確認している。また、会計年度任用職員の採用には選考のときに職場見学の機会を設けている。

Q 障害福祉計画策定のスケジュールはどうか。

A 令和5年度末までに策定する。当事者参加についてはアンケート調査やヒアリング、障害者自立支援ネットワークでの協議を予定している。障がい者や難病者の多様な働き方については障害者福祉計画に盛り込んでいく。

市民・市民団体からの質問や要望に誠実な対応を

Q リニア中央新幹線静岡工区に関する大井川流域の10市町にあてた市民団体からの質問書に焼津市だけが文書での回答は控えたいとのこと



あきやま ふみこ
秋山博子
(無党派)



とだった。真摯に対応していく、対話していくという姿勢は表してほしい。今後こうした団体等からの要望等にどのように対応していくのか。

A 真摯な対話をしていきたい、市の考え方を説明する場を設けていた、ということでも回答したつもりであった。市民や団体の皆様としっかりコミュニケーションをとるところは非常に大事なことで、引き続きしっかりとやっていきたい。

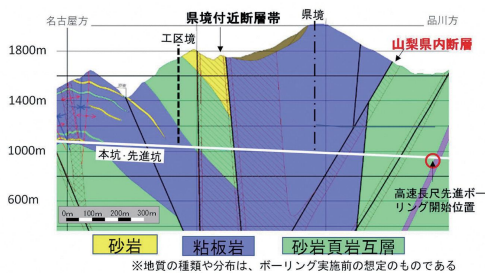


図 29 地質縦断面図(山梨県内断層と県境付近断層)

静岡工区の地質縦断面図
(静岡県HPから)

観光振興の資源となる荒祭や 地域のお祭りの後押しを

Q 荒祭や地域のお祭りを市としてサポートできることはどのような形があるか伺う。

A 文化財の保存や継承、活用などの具体策として、焼津市文化財保存活用地域計画を策定し、昨年12月に国の認定を受けた。本計画を進めていく中で、関係者の皆様とともに文化財の保存と活用に取り組んでいく。



焼津神社大祭
荒祭の活気ある様子

焼津市への転入者が増加の理由

Q 2022年の1年間の焼津市への転入者は、326名で増加傾向にある。本市が捉える地域おこし協力隊の実績を伺う。



いしはらたかゆき
石原孝之
(無党派)



Q 移住定住を促進するためのプロジェクトとして、都内移住フェア等に出展、地域おこし協力隊による現地案内、移住者に寄り添い、地域との橋渡し役や隊員の個性を活かした活動、そして市民リポーター組織と協働し、移住定住総合支援サイト・やいづライフの内容を充実させ、市公式LINE等で本市の魅力を市内外に発信してきた。

市議選投票率が過去最低の結果を受け、今後の取り組みを

Q 市民の暮らしの動線上にある駅やスーパーに、期日前投票所の場所を増やすなど、投票所の人員の確保や場所の確保、予算を増やしてこの問題に本気で取り組むべきだと感じるが、どうか。

A 期日前投票所は現在市内3か所ある。本市の面積や人口分布から妥当な数であり、現時点では増設する予定はない。

ともに支え合い豊かに暮らせる まちづくりの政策

Q 今後自転車乗用ヘルメット取得費の補助を検討していくのか。

A 自転車乗用ヘルメットの購入補助は現時点では計画していないが、自転車利用が多い学生や高齢者などの被害軽減の方策を研究していく。

Q 潮風グリーンウォークの整備について、海側と陸側に手すりつきのスロープとすることで、誰でも潮風グリーンウォークに上がって散策ができるようになるが、このような考えはあるか。

A 吉永放水路近くに、海岸へ上り下りの階段1基と、潮風グリーンウォークとアクセスするスロープ一か所を設置する計画である。

Q 完成済みの階段に手すりの改善をすることを考えるか。

A 完成済みの階段への手すり設置は利用状況などを勘案し、今後必要性を検討していく。

Q 大井川防災広場整備について、平常時の利用のため市民の憩える場所を提供することは考えられるか。



よしだまさひろ
吉田昇一
(凌雲の会)



A 同広場ではボール遊びや園路を活用したウォーキングなどに利用されており、各種スポーツなど幅広く利用できる多目的広場が完成予定である。

Q 同広場の自噴井戸を流水施設として整備をする考えがあるか。

A 自噴井戸の活用は「せせらぎ水路」を計画している。

Q 津波避難タワーに備蓄品や資機材の収納設備の整備の進め方は。

A 静岡県の交付金制度を活用し、収納設備のついた防災ベンチの整備を計画的に進めていく。



防潮堤と盛土 (利右衛門浜)

すこやか長寿社会の 推進のために

Q 地域が主体となる交流の場の創設支援について具体的な取り組みは。

A 居場所づくり推進員の育成、通いの場の運営費補助などを行っている。また、フレイル予防に気軽に取り組めるよう、焼津ころばん体操の普及啓発をしたり、住民が集まる場に、運動・口腔・栄養の専門職を派遣し、健康や介護予防に関する学びや体験の場を提供している。さらに、認知症への理解を深めていただくよう、認知症サポーター養成講座を実施している。

介護予防に重要な「3つの要素」



おかだ みつまさ
岡田光正
(無党派)



Q 居場所づくりのためにも公会堂等建設補助事業を

A 公会堂等の維持管理や利用に関する調査を行い、地域の居場所としての活用方法を研究して欲しいかどうか。

A 居場所づくり推進員たちが、地元での居場所づくりの場として公会堂等を検討することはあり得ると思う。また、地域の活動拠点としての公会堂の修繕等は、助成という形で支援していきたい。

市民対応の更なる改善を願う

Q 市民対応での苦情、トラブルに対する問題は庁内で共有し、改善がされているか。

A 内容に応じて所属長から職員に情報共有を図っているほか、傾聴力、相手に寄り添った対応スキルの向上を図る研修の実施や、各職場における接遇マニュアルの再確認と接遇の点検を実施し、さらなる質の向上に努めていく。

デジタル化による 市民サービスの向上

Q 昨年12月20日スタートの焼津市公民館・小中学校の体育館やグラウンドを予約・申込する目的だが、市民にとって利便性が向上していないとの指摘がある。システムに関する意見や要望は寄せられているか。

A インターネットにより昼夜を問わずどこでも行え、大変便利になったことや、使用料の支払い方法などのご意見が寄せられている。

Q 今後さまざまな行政サービスにおいてデジタル化が進められるが、その仕様検討は各課の職員である。デジタル化を検討する職員に対する教育やルールの策定に関する市の考えは。

A 焼津市DX推進計画において常に利用者目線や業務効率化の意識を持ち、手続き全体を見直す事が重要であると認識している。

Q 職員に対する今後の教育は。

A 現状、研修は多くないので検討する。



ふじおかみまさ や
藤岡雅哉
(無党派)



市議会選挙投票率低下対策

Q 選挙公報は新聞折込であったが、新聞未購読世帯への配布方法は。

A 広報やいづ郵送世帯への送付と市役所・公民館などへの配架。

Q 全戸配布を前提としているか。

A 前提にはしていない。

Q 全戸配布のためにポスティングのような民間サービス検討は。

A 選挙管理委員会で検討する。

Q 選挙公報の一人当たりサイズをせめてA5程度にできないか。

A 他市の選挙公報を参考に、適切なサイズを研究している。



投票の様子 (イメージ)

焼津市の自然環境を守り 次世代へ引き継ぐこと

Q 原発問題における政府の「福島原発事故への反省なき原発帰還」方針への認識は。

A 国の政策であり、国において議論されていくもので、その決定に従って自治体として対応を取っていく。

Q 電気料金を抑えるために原発の再稼働が必要と考えるか。

A ここで議論することではない。

Q 原発再稼働とゼロカーボンシイの実現や使用済核燃料と自然環境を守る関係をどう考えるか。

A 原発の再稼働については国で議論されるものと考ええる。

Q 環境に大きく影響する残土について、その最終処分場を把握しているか。

A 取扱基準を定め、再生資源としての活用を推進、発生土の搬出場所を明示、中間処理業者であれば県などが定める盛土材の基準に適合しているか確認する。

Q 河川清掃、草刈りの管理について高齢化で地域での河川清掃や草刈



すぎた げん たらう
杉田源太郎
(日本共産党市議会議員団)



りができない自治会との情報交換は計画されているか。

A 今年度、自治会からの要望は42件、情報交換を図り優先順位を決め、計画的に対応している。

Q 農地の確保と自然環境を守ることにおいて、有機農業の大切さの認識は。

A 雨水を一時的に貯留する機能もち、有機農業は持続的発展と環境負荷低減を図る効果はある。

Q S・I・C周辺まちづくりでの優良農地活用と大切さの認識は。

A 準備組合で必要な機能等検討。優良農地は重要な資源の一つ。

Q 静岡のS・I・C周辺視察の目的は準備組合役員の要望で行った。



東名高速道路とつじ平団地間
約27ヘクタールの優良農地

学校給食の食材について伺う

Q 国内で多量使用されている除草剤は、国際がん研究機関から発がん性の懸念があると発表されている。米の産地と栽培方法は。

A 地産地消を推進するため、JAおおいがわから、慣行農法で栽培された焼津産米を100%確保し、給食で提供している。

Q 近年、小麦のたんぱく質グルテンが問題となっている。更にほとんどを輸入に頼っている。パンや麺その他全般に使われている小麦粉の生産国はどこか。

A パンは全て国産小麦であり、麺については国産小麦と安全性が確認された北米産や豪州産を混合し使用している。

Q 小麦の品種改良が行われた結果、生産性は10倍になったものの、グルテンの量も40倍近くになっていると言われている。米粉にはグルテンが含まれていない。成長期の子供たちに安心安全な給食を提供するために小麦粉の代わりに米粉を使えないか。



すずき まゆみ
鈴木まゆみ
(無党派)



A 100%米粉パンを導入する場合、小麦のパンと同じラインで現在の設備では製造ができないことから、100%米粉パンの提供は難しい。

給食センターの再編

Q 再編が検討中の、現在の進捗状況はどうか。

A 令和元年度に策定された焼津市学校給食センター再編方針に基づいて進めており、現在、候補地や事業手法の調査、研究、検討を行っている。



本市の学校給食